

Alberto Nanclares

スペイン／ガリシア
アルベルト・ナンクラレス

最重要視するのは酸の質、冷涼感たっぷりのリアスパイシャス

ブルゴス出身のアルベルト・ナンクラレスは、首都マドリッドでエコノミストとして活躍しておりました。プライベートでは海を愛するセーラーで、それがきっかけで1993年、彼はこのガリシアの土地にやってきました。彼と妻はボートを停泊させている港近くの小さな土地を別荘として購入し、その土地を大変気に入っておりました。購入した土地にはブドウ畑がついており、そしてこの土地こそが海岸から数百メートルのDOリアス・パイシャスのサブリージョンであるヴァル・ド・サルネスの中心であり、アルバリーニョの畑なのでした。アルベルトは週末ごとにこの別荘を囲む土地の手入れを始め、ブドウ栽培をスタートさせました。97年には住居に併設したワインセラーを建て、2000年にはエコノミストの職を辞しポートよりも畑とワイン造りを選び、ワインメーカーとなりました。

当初は近所の農家に倣ってこの土地の一般的な農法でスタートしました。しかし彼はすぐに自分の家の裏でもある畑に化学肥料を使用することが不快になりそれをやめオーガニックで栽培することを考えました。しかし、この雨が多く大西洋からの湿気の多い土地ではそれは大変に困難でした(年間の平均湿度は約70%前後)。ですが、化学肥料などなかった何世紀にも前にはそれは成り立っていたわけで、彼はオーガニック栽培を続けます。そしてその結果、海から受けるこの土地の特徴を、より表現するフレッシュで生き生きとしたワインができることを確信します。10年前から畑は実験的に段階的にビオロジック農法へ移行していき、2014年頃からは完全に全ての畑でこの農法でブドウを栽培しております。果実味の質がトロピカル系⇒柑橘系へ変化したと彼はいいます。こうしてアルベルトはこの土地のオーガニック栽培のパイオニアになり、ラ・パディーダのナチョ・ゴンザレスやベルナルド・エステバスなどガリシアのオーガニック栽培の生産者のお手本となっていきました。

DOリアス・パイシャスは、ここ30年で大きな変革を遂げました。数世紀前、ワインはリベイロのワインとともに北ヨーロッパに主に輸出されておりました。戦争やフィロキセラの発生等により20世紀中にはほぼこの土地にはそぐわないハイブリッド種やパロミノへの植え替えが余儀なくされました。

スペインがEUに加盟した1980年以降にこの土地は変革を始めました。もともとこの土地の土着品種であるアルバリーニョが再度植えられ1980年に特定呼称アルバリーニョ、1988年にリアスパイシャス DOが認定されこの土地は復活を遂げました。アルバリーニョが持つ果実味と高い酸味はマドリッドと輸出の市場で一躍ヒットし、その後大手ブランドがこの土地でひしめくようになりました。

彼は現在、合計2.5ha、13のヴィンヤードを持っています。

仕立ては伝統的なペルゴラ(棚仕立て)で地面から高い位置をキープしています。土壌は近所から取ってきた海藻と醸造後の果皮を肥料にしており、散布するものはハーブをまぜたボルドー液と畑の周りの植物からの抽出液のみです。この土地を畑ではなく森として考えており、この20年間、草を刈るだけで畑は一切耕しておりません。

収穫は特にタイミングを重要視しており、酸の質を非常に重要視しています。アルコール度数ではなく総酸を考えタイミングを計り約3週間かけて行います。15kg容量の小さな箱をつかい丁寧に収穫されたブドウから順に醸造を開始。セラーにおいては、いたってシンプルです。自然酵母を使用しマロラクティック発酵をとめるためとクリーンさを保つために極少量の二酸化硫黄を添加する以外は何も行きません。醸造はステンレスタンクと古樽(4～5年落ち)を使用し澱と共に熟成させます。樽はほとんどがフレンチオーク、一部この界隈でとれた栗の木で作られた樽も使用しています。

アルベルトはエントリーレベルのシンプルなワインから深みとフレーヴァー豊かなシングルヴィンヤードのキュベまで幅広いレンジのキュベを造っています。



Diony

【34469】Dandelión ダンデリオン18				【34470】Tempus Vivendi テンプスヴィヴェンディ 18			
呼称	D.O. Rías Baixas リアス・バイシャス			呼称	D.O. Rías Baixas リアス・バイシャス		
参考小売	¥2,600			参考小売	¥2,600		
規格/タイプ	750ml×6×2 / 白・辛口			規格/タイプ	750ml×6×2 / 白・辛口		
栽培/認証	- / -			栽培/認証	- / -		
テロワール	土壌	標高	面積・収量	テロワール	土壌	標高	面積・収量
	花崗岩 砂質	50m	3ha・56hl/ha		粘土 花崗岩 砂質	50m	2ha・45hl/ha
品種(収穫/樹齢)	アルバリーニョ 100% (手摘み / 25 ~ 75年)			品種(収穫/樹齢)	アルバリーニョ 100% (手摘み / 25~40年)		
醸造 酵母	自生酵母			醸造 酵母	自生酵母		
発酵	9月10日~10月6日収穫(慣行農法) / 空気圧搾後 20~50hlのステンレスタンクで21日間[18~20℃]発酵			発酵	9月10日~10月6日収穫(慣行農法) / 空気圧搾後 75%は20~50hlのステンレスタンク 25%は木樽で21日間[18~20℃]発酵		
熟成	ステンレスタンクで7ヶ月間[12~16℃]熟成 軽く濾過・無清澄 / 瓶詰め: 2019年4月24日・25日			熟成	20~50hlのステンレスタンクで7ヶ月間[12~16℃]熟成 軽く濾過・無清澄 / 瓶詰め: 2019年4月23日(果実と花の日)		
SO ₂	発酵中: 20mg/L トータル: 82mg/L			SO ₂	発酵中: 20mg/L トータル: 84mg/L		
アルコール度	13%			アルコール度	12.5%		
特徴	元エコノミストで海を愛するセーラーのアルベルトがヴァルド・サルネスの中心地に別荘として土地を購入、今では全てを辞しワイン造りに没頭する毎日です。土着品種アルバリーニョをステンレスタンクで発酵・熟成しました。淡いグリーンホワイト、フレッシュなバナナや山椒の香り、ボリューム感のある口あたりにキレのある酸、深味とたっぷりとたゆたうミネラルがアフターを豊かに演出します。			特徴	リアス・バイシャスのサブリージョンであるヴァルド・サルネスでワイン造りを行うアルベルトが土着品種のアルバリーニョを75%はステンレスタンクで25%は木樽で発酵しステンレスタンクで熟成しました。輝くクリーム色の外観から、もぎたてフルーツや白桃、イチゴの香り、丸くふっくらとした口あたりに重心高めのストラクチャー、キレのある酸を伴う果実感がアフターの隅々までに流れます。		

SOLD OUT



Diony